

とっとり県美応援団 事務局だより

2021. 6. 23号

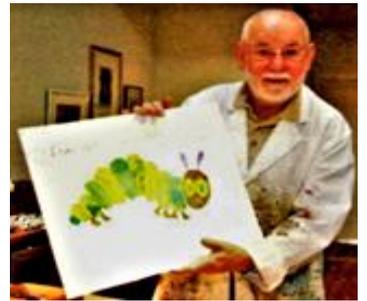


5月23日エリック・カールさんが亡くなられ、ちょうど一ヶ月。彼の代表作 絵本「はらぺこあおむし」には、読者を夢中にさせる仕掛けが多くページにあるため本国での製作が難しく日本でつくられたとか。初出版から半世紀以上経った今も、世界中の人々に愛され超ロングセラーになっているこの絵本を手にされたことのある方も多いと思います。

十数年前、島根県立美術館で「絵本の魔術師エリック・カール展」が開かれ、多くの来館者が色彩溢れる彼の世界を楽しんでいる光景が、美術館いっぱい広がっていたのを思い出すと同時に、鳥取県立美術館のことを想像しました。

「展示室」「ひろま」「テラス」には人々が集い、美術館をさまざまに楽しんでいる情景、その傍らで生き生きとボランティアに参加する人々の姿、等々。

2025年春、歴史に対する思いと未来に対する希望が響き合う地に「県立美術館」がどのような輝きを放ち開館するのか、さらに楽しみになりました。



在りし日のエリック・カール氏 ©渋谷出版企画

環境チーム

講演会事前打合せ会の開催

日時：7月10日(土)14:00~15:00
場所：上灘コミュニティセンター
内容：講演会当日の役割分担、会場づくりについての確認 等

後方支援チーム

チーム打合せ会を開催します
=チームメンバーさん お集まりください=

日時：7月18日(日)16:00~
場所：上灘コミュニティセンター
内容：チーム活動の実際について①
県民の声の収集方法の検討 他

チームからのお知らせ

広報チーム

応援団広報紙いよいよ発行です !!
「とっとり県美応援団」ニュースレター

び〜・さぽ

2021年6月
第1号

ニュースレター「び〜・さぽ」とは
Be Supporters! (応援団になって!) と
私たち応援団員=けんび・サポーター
の2つの意を込めて名付けました

応援団の存在を広く県内に紹介し、県民の関心を高めたいこと、読みやすい紙面づくりを目指しました。年間4回の発行を目標にしています。

鳥取県立美術館整備推進事業

ファシリテーター養成講座への参加

<6月17日、鳥取短期大学>
演題:「アート・コミュニケーションのためのスキルを磨く」

講師:佐藤敬子氏

~感性を育てたいあなたへ~が副題の学生向けの講演だった。相手が考えなくなる質問力をつける事は対話型鑑賞(ファシリテーター研修)に活かせるものであった。

国造焼窯元での研修会

6月12日、四代目窯元山本佳靖氏より、「社地区は国産が置かれた当時から職人が集まるモノづくりの盛んな地域で、国造焼はその時々々の日常生活に求められる器づくりを行い、今に続いている。」と説明を受け、3つの窯が置かれた



た工房で実演を交えながら作品づくりへの思いやこだわりについて話を聞いた。参加者には作家(書・工芸)の方がおられ、「道具へのこだわりが作品の妙を生み出す。」「地域素材を工夫し作品づくりに生かす事が技を受け継ぎ未来へ繋ぎ、新たな価値を付加える。」などと発言された。参加者は、それぞれ匠の作品作りに対する思いの深さに触れることができ、心に響く研修会になった。

